

## 交流の時代



平成4年に始まった沖縄県豊見城市(当時村)との中学生の交歓交流は、現在も続いている。翌年に沖縄を訪問した様子を広報は伝えている▶中学生の海外への派遣も行われ、韓国、中国、シンガポールなどを訪れた。平成6年には20人の中学生をハワイに派遣▶大竹市初の英語指導助手として赴任したパトリック・トレーシーさんが1年の任期を終え帰国。小中学生からのメッセージを掲載した。

## イベントの時代



ビッグイベントが続いた平成前半。平成の幕開けの元年9月には、埋め立て間もない晴海地区で、24時間のイベント「エキサイティング・ウェーブ・イン大竹」を開催。歌手の本田美奈子さんのコンサートや真夜中のシンポジウムのテレビ中継などで盛り上がった▶スポーツでは、平成6年の「アジア大会」のバスケットボール会場になり、各国選手のプレイに魅了された。外国語ボランティアも活躍▶平成8年の国民体育大会では、卓球と山岳競技の会場に。全国の選手を民泊で迎え入れ応援した▶平成12年には国民文化祭開催。ジャズダンスと川柳会場に。その後、ダンスで世界を舞台に活躍する三宅由利子さんの姿も広報紙を飾った。



## つながる時代



平成17年、国立大竹病院から国立病院機構広島西医療センターに改称、新たなスタートを切った。新病棟も完成し、地域医療の拠点としての重要な役割を担う▶平成9年10月、大和橋の架け替え工事が完了。三世代の渡り初めが行われた▶平成24年4月、地域をつなぐ「こいこいバス」が、オレンジ色の新型車両で登場。



## 防災の時代



平成13年3月、大きな揺れにみまわれた芸予地震。市内でも家屋などへの被害があった▶平成17年9月の台風14号、激しい雨による道路の崩壊などの被害を受けた▶平成3年には台風19号、平成16年には、台風14、15号など、大きな被害をもたらす災害も記憶に新しい。防災への取り組みが重要な時代となった。



# 平成 おおたけ グラフィティ

— hey say otake graffiti —

30年あまり続いた「平成」が今月で終わり、5月から新しい元号の時代が始まります。激動の時代と言われる昭和と比べ、あなたにとって平成とはどのような時代だったでしょうか。一つの時代の区切り、大竹の30年ほどのような出来事があったのか、広報おおたけが見てきた平成を振り返ります。

【取材・構成 企画財政課】



平成元年生まれの市職員。「平成」の文字もタブレットで掲げます。

## 先人が つくった時代



## 新リーダーの時代



4人の市長が市政のかじ取りをした平成。平成2年7月、神尾前市長から市政を引き継いだ豊田伊久雄市長が初登庁。3期12年間に務めた▶その後、中川洋市長、入山欣郎市長と続く。



大竹のまちの発展に貢献し、郷土の誇りとなる人に贈られる名誉市民。昭和から平成という時代を切り開いていったといっても過言ではない▶平成元年6月、作詞家の石本美由起さん、平成4年3月、市長を16年間務めた神尾徹生さんに名誉市民の称号が贈られた▶平成21年5月、石本美由起さん逝去。同年8月号で追悼特集を組んだ。



# 平成の思い出、新時代への期待 — interview



山口 光江さん  
(65歳 湯舟町)

平成になって、フィギュアスケートをはじめ、いろいろなスポーツで、世界と力の差がなくなってきたと感じています。平成の時代、平和で無事過ごせたことが幸せです。これからの時代、行政と市民がより近い関係になって活性化していき、いいまちをつくってほしいです。



村本 祐輔さん  
(37歳 新町3)

強く記憶に残っているのは、東日本大震災です。津波の映像に恐怖を覚えました。大竹の出来事としては、油見トンネルが開通(平成11年)したことでしょうか。弥栄ダムや蛇喰壺が一気に近くなったと思いました。子どものころは車酔いをしていたのでカーブが少ない道で助かりました。個人的には結婚して子どもができたことです。新しい時代は、子どもにとって生活に不安のない時代になったらいいと思っています。



松村 香さん  
(29歳 岩国市)

平成元年生まれです。同じく大竹の勤労青少年ホームで活動しています。国内の出来事では、東日本大震災をはじめ、災害が多かった印象です。テレビも地デジになったりして、IT化が進んできましたね。

竹田 早有貴さん  
(32歳 岩国市)

印象に残っているのは、ゲームの「たまごっち」ブーム。売り場に並んで買ってもらいました(笑)携帯電話ですが、最初に持ったのはPHS、高校になってケータイ。今はスマホに進化してきました。家は岩国ですが、大竹の勤労青少年ホームで活動しています。岩国大竹道路が早くできるといいな。格差社会といわれるようになっていますが、新しい時代は医療費などの負担で、所得が低い人でも安心して暮らせる世の中になってほしい。

## 平成 おおたけグラフィティ



森本 真央さん  
(15歳 新町1)

平成の大きな出来事では、選挙権が18歳からになったことです。それから去年の豪雨災害。自分自身のこととしては、今年、高校受験に受かったことです。これからの新しい時代に期待するのは、ゲームが好きなので、新感覚のゲームが出てほしいこと。VR(バーチャルリアリティ)とかでも、もっと進化したようなものがない。それと戦争は繰り返さない世の中にしていきたいです。



阿部 さわ子さん  
(69歳 南栄2)

平成の出来事では、オウム真理教の事件が印象に残っています。格差社会で貧富の差が顕著になってきたようにも感じています。子どもの虐待もそうした社会情勢と関連があるのではないのでしょうか。これからの時代ですが、不安な世界情勢が報じられる中、戦争は二度と起こしてほしくない。みんなが相手の立場を思い、話し合いで解決する世の中であってほしい。孫たちが元気で暮らせる時代になるよう望んでいます。



渡辺 孝雄さん  
(84歳 西栄1)

平成といえば地下鉄サリン事件です。この30年平凡でしたが、平和に過ごせました。老人クラブの会長をしています。なかなか新しい人が入ってくれないのが悩みです。個人的な平成の出来事は、70歳を過ぎてからパソコンを習ったこと。これからの時代への期待は、景気がよくなってほしいと思っています。



堀川 志保さん  
(32歳 南栄2)

平成は、増税や災害が当たり前の世の中でした。去年7月の豪雨災害では、仕事で福山方面に行っていた夫が帰宅できなくなったこともあり。私の出来事としては、4年前に結婚したことでしょうか。新しい時代に望むのは、少子高齢社会の中、子育てや不妊治療などの制度の充実です。大竹市にも助成がありますが、さらに充実してほしいと思います。

# おおたけ平成史 [1989年▼2019年]

昭和64年が突然に幕を下ろし、新元号の平成が始まりました。改元に伴うさまざまな手続きや事務作業に大わらわだったことも、今となっては懐かしい思い出です。  
平成の30年間に大竹市で起きた主な出来事を年表にしました。

平成	年	月	出来事
平成	元年	3月	大竹港臨海部土地造成事業・埋立地宅地整備工事完成
平成	2年	6月	石本美由起氏・名誉市民に選定・三倉岳ロクハウス完成
平成	3年	2月	アゼリアホール完成
平成	3年	4月	豊大竹市文化振興事業団設立
平成	3年	6月	豊大竹市長就任
平成	3年	9月	養護老人ホーム「ゆうあいの里」落成
平成	3年	11月	広島岩国道路(大竹)大野間開通
平成	3年	12月	弥栄ダム建設事業完了
平成	4年	3月	第1回「弥栄湖スポーツフェスティバル」開催
平成	4年	6月	神尾徹生氏・名誉市民に選定
平成	5年	3月	阿多田児童館完成・第三次大竹市総合計画基本構想策定
平成	6年	2月	中市堰完成
平成	6年	3月	中国塗料(株)大竹事業所操業開始
平成	6年	8月	総合福祉センター「サントピア大竹」完成
平成	6年	10月	水道局庁舎完成・コミュニティサロン元町完成
平成	6年	11月	シンボルマーク策定
平成	7年	4月	第12回アジア競技大会開催(バスケットボール)
平成	7年	10月	大竹市・都江塚市友好関係交流協議書調印
平成	7年	10月	休日診療所開設
平成	8年	3月	新消防庁舎・コミュニティサロン・栄町、海の家あたた完成
平成	8年	10月	漁業集落(阿多田地区)排水処理施設完成
平成	8年	12月	第51回国民体育大会開催(卓球・登はん競技)
平成	9年	3月	国登録文化財(阿多田島灯台資料館の吏員退息所、物置、油庫)
平成	9年	12月	栗谷診療所完成・玖島川親水公園完成
平成	9年	12月	コミュニティサロン・玖波完成
平成	10年	3月	大和橋(改築)完成
平成	10年	11月	第1回「こいこいフェスティバル」おおたけ開催
平成	10年	11月	農業集落・栗谷地区排水処理施設完成・松ヶ原地区に上水道通水
平成	11年	4月	阿多田診療所開設
平成	11年	10月	休日診療所外科系診療開始・油見トンネル開通
平成	12年	3月	マロンの里交流館完成
平成	12年	11月	第15回国民文化祭開催(川柳・ジャズダンス)
平成	12年	12月	第四次大竹市総合計画基本構想策定
平成	13年	4月	大竹市・都江塚市友好都市締結調印
平成	14年	1月	第1回「おおたけカキ水産まつり」開催
平成	14年	4月	第1回「亀居城まつり」開催
平成	15年	7月	中川市長就任
平成	15年	7月	森と湖 弥栄湖フェスタ開催
平成	15年	7月	夢エネルギーセンター(こみ固形燃料施設)完成
平成	16年	6月	安条トンネル開通
平成	16年	6月	中市立戸線開通
平成	16年	6月	大竹中学校校舎改築完成
平成	17年	2月	入山市長就任
平成	18年	6月	大竹港国際コンテナ定期航路開設
平成	19年	12月	松ヶ原小学校閉校
平成	20年	4月	大竹港「ポート・オブ・ザ・イヤー2008」受賞
平成	21年	1月	防災行政無線運用開始
平成	21年	1月	地域情報通信基盤整備工事完了
平成	22年	12月	第五次大竹市総合計画基本構想策定
平成	23年	3月	大竹小学校校舎改築完成
平成	23年	12月	木野小学校閉校
平成	24年	4月	こいこいバス本格運行開始
平成	24年	4月	小方小学校・中学校校舎移転改築完成・給食センター完成
平成	25年	2月	阿多田小学校・穂仁原小学校閉校
平成	25年	4月	豊大竹市文化振興事業団解散
平成	26年	9月	栗谷中学校閉校
平成	27年	4月	晴海臨海公園の球技場・管理棟完成
平成	27年	9月	JR玖波駅西口供用開始
平成	28年	10月	小方公民館閉館
平成	28年	10月	阿多田郵便局で住民票等の交付開始
平成	29年	3月	玖波小学校校舎改築完成
平成	29年	10月	栄橋(架替)完成・両国橋(架替)完成
平成	30年	4月	地域福祉会館「おがたピア」開設
平成	30年	4月	晴海臨海公園に大型遊具(ロボポ)供用開始

# ありがとう平成。よろこそ新しい時代「〇〇」。

〇〇の中に文字を入れてください。



小方ヶ丘に移転した小・中学校。円形の中庭が特徴的。



大型の船舶が停泊できる新しい大竹港。ポート・オブ・ザ・イヤーに輝く。



当初は、ゆめタウンそばの公園で「カキ水産まつり」は開催されていた。



阿多田島の住民の健康を見守る診療所。



福祉の拠点施設、総合福祉センター。愛称の「サントピア大竹」は公募で名づけた。



中国地方有数の規模を誇る弥栄ダム。